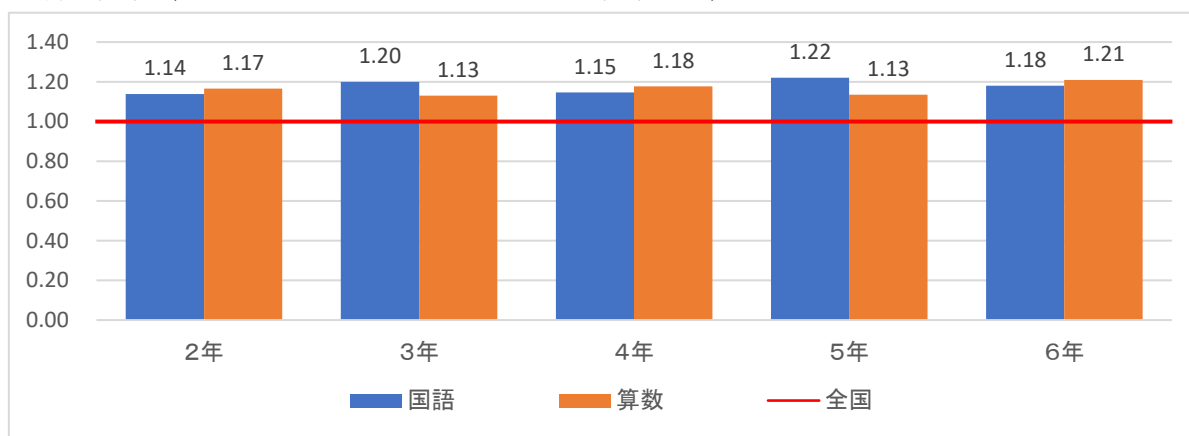


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第三中学校区 北小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	各学年で習得すべき基礎・基本的な知識・技能の定着は概ね良好。活用力・書く力に課題があり、学んだ知識を活用する機会を設定していく。
	算数	各学年で取得すべき基礎・基本的な知識・技能の定着は概ね良好。測定、数量関係について日常生活と結びつけて考えることに課題があり、具体的な体験活動を充実し、習熟・定着を図る。
全国学力・学習状況調査	国語	すべての設問において全国平均正答率を上回る。一方、「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする」力や、「事実と感想、意見とを区別して書く」力など、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。日々の授業での取組とともに、ディベート学習等も活用し、伝える力を育成していく。
	算数	すべての設問において全国平均正答率を上回る。一方、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方や表し方について理解し、その数量を求めるとともに、日常生活で出合う様々な問題を解決するために、目的に応じて大きさを比べたり表現したりすることに課題がある。意識的に数学的活動を通して、速さなど単位量当たりの大きさについて考察する方法を工夫し、日常の事象の解決に活用できるようにする。
	質問紙	昨年同様、自信を持って「当てはまる」と答えることができる回答が全国平均より低い傾向にある。できていることを認め、励まし自己肯定感の向上に努めたい。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

小中一貫校区部会の「学力向上部会」において、学力調査の結果分析に基づいた対策を共有し、義務教育9年間を通じて児童・生徒が主体的に学び合える授業づくりをめざしている。

また、三校授業交流会や各種研修会等により、校区全体で学力向上に努めている。

【 学 校 】

学力3要素における評価観点に応じた授業改善を継続実施。さらには学んだことを活用し、自分の意見をしっかりと述べることのできる児童の育成に取り組む。